

CardUT 診断ツール使用方法

株式会社 シーピーアイテクノロジーズ

1. 概要

CardUT診断ツール（CardUT-Diag）は現在お使いの環境で、弊社製PCカード開発支援ツール、CardUT-XP関連ソフトウェア*¹（以下単に「CardUT」と呼ぶ）が正常に動作するかどうかを、ご購入前に確認するためのツールです。

*¹ CardUT-XP、CardUTPRO-XPおよびCardUTPRO-XPを使用して作成したユーザプログラム

2. 準備するもの

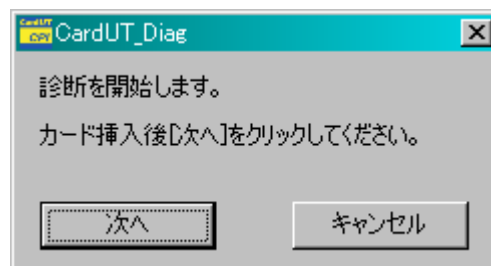
診断にあたって以下のものをご用意ください。

- ・ CardUT を使用する予定のある PC
- ・ 実際に CardUT で使用する PC カード

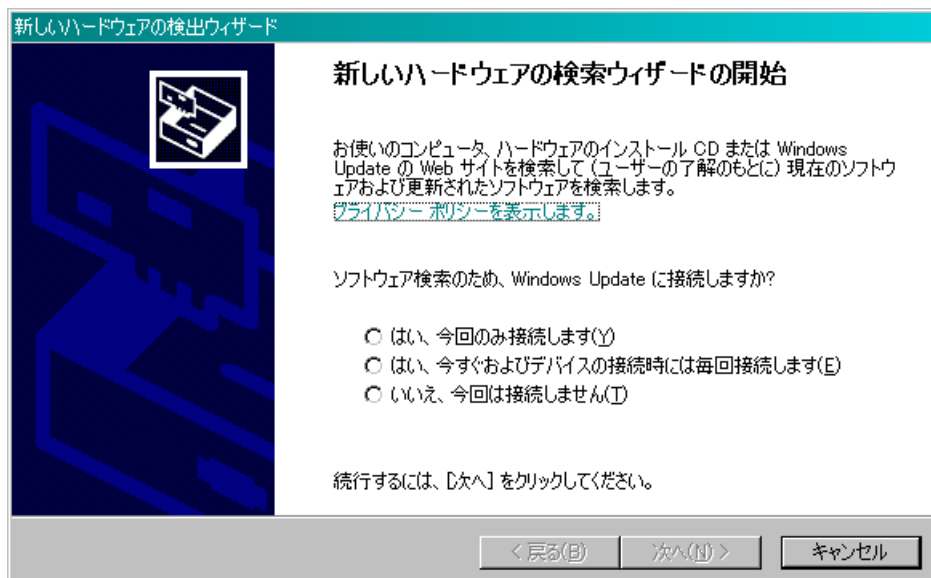
診断で使用する PC カードに記録されていた内容は、全て失われます。保存が必要な場合は事前にバックアップをお取りください。

3. 操作手順

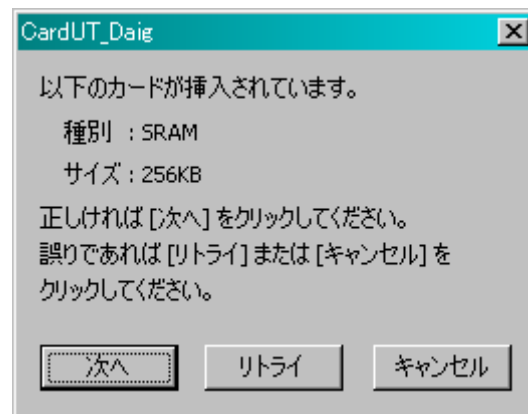
CardUT-Diag を起動すると、まず以下のダイアログが表示されます。



診断に使用するカードを挿入すると、初めて装着するカードの場合は「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。以下の画面が表示された場合は、別紙『ドライバインストール方法』に従ってドライバのインストールを行ってください。既にドライバがインストールされている場合は、この表示は現れませんので、に進んでください。



ドライバのインストール終了後、 の画面に戻って [次へ] をクリックすると、以下のダイアログにより、CardUT_Diag が読み取ったカードの種別とサイズが表示されます。

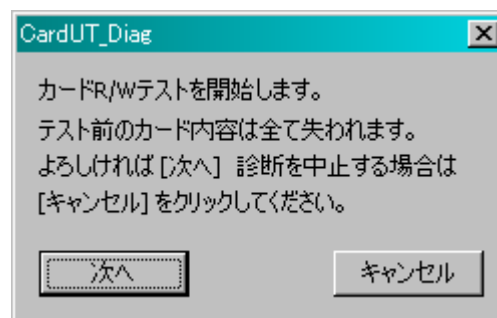


ダイアログに表示された、種別およびサイズが挿入したカードと一致していれば、[次へ] をクリックしてください。種別、サイズ表示が誤りである場合は、以下のようなことが考えられます。

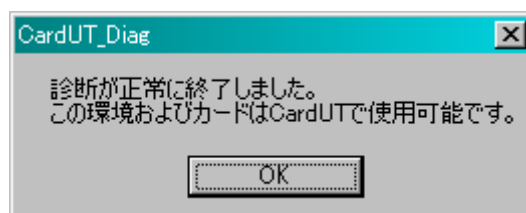
- ・ PC カードに正しい属性情報が書かれていない
- ・ 何らかの理由により、種別・サイズの読み取りを正しく行うことができない。

カードを交換して [リトライ] をクリックしても正しい表示がなされない場合は、CardUT-XP が使用できない環境である可能性があります。

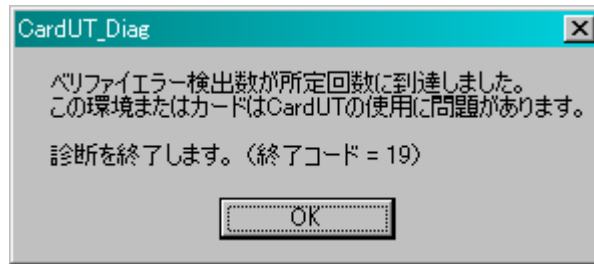
[次へ] をクリックした場合は、以下のダイアログ表示となりますので、更に [次へ] をクリックしてください。



カード R/W テストが開始され、数秒～数分後に結果が表示されます。結果に問題がなければ、以下のような表示となります。



R/W テストで所定回数のエラーが発生した場合は以下の表示となります。



以上で診断は終了です。 の表示となった場合はCardUTが使用可能な環境です。 の表示となった場合はCardUTの使用にあたり、何らかの問題があります。別のPCで再度お試しになるか、または弊社テクニカルサポート (support@cpi-tec.com) にご相談ください

4. R/W テストの対象アドレス

カードの R/W テストは以下のアドレス範囲に対して行います。

- ・ SRAM カードおよびニアフラッシュメモリカード : カードの全域
- ・ ATA カード : カードの先頭から CardUT-Dia.ini で指定された範囲 (インストール時は 1MB)

5. CardUT-Diag.ini

CardUT-Diag のインストールフォルダにコピーされる CardUT-Diag.ini により、以下の値を変更することができます。

- ・ R/W テストにおけるエラー検出数の上限
- ・ R/W テストにおける ATA カードのテスト対象サイズ

必要に応じてメモ帳などで編集してください。

6. ログファイル

CardUT-Diag は診断を実施するたびに、ログファイルを生成します。ログファイルは CardUT-Diag インストールフォルダに以下のファイル名で生成されます。

YYMMDD-HHMMSS.txt

YYMMDD.....診断開始時の西暦下 2 桁、月、日

HHMMSS.....診断開始時の時刻

このファイルにはR/Wテストにおいてエラーが発生した場合のアドレス等、診断の詳細が記録されます。診断の結果が「問題あり」となった場合、このファイルを弊社テクニカルサポート (support@cpi-tec.com) にお送りいただきますと、問題の発生要因等の推測が可能な場合があります。

以上